

平成 30 年度行政評価委員会の運営方針

【運営方法について】

区の抱える課題について、区民の視点から評価を得ることで、事務事業の効果的、効率的な課題解決を図ることを目的として、平成 30 年度も引き続き行政評価委員会を設置する。

平成 29 年度の行政評価委員会における評価対象事務事業は、「成果の向上・改善の余地が大きい」と判断した事務事業の中から、課題等がある事業を区が選定したが、平成 30 年度においては、さらに区民の視点を取り入れるため、平成 29 年度行政評価委員会委員を対象として実施したアンケート結果を参考とした上で、区が選定する。（詳細は以下のとおり）。

評価対象 事務事業の 選定	平成 29 年度行政評価委員会委員を対象として実施したアンケートの結果（※別紙参照）を踏まえ、「成果の向上・改善の余地が大きい」と判断した事務事業の中から、以下の視点により区が選定する。	
	① 事務事業の方向性について、評価を得たいもの 例) ・事務事業目的が達成されていない事業 ・積極的な事業拡大を検討している事業 等 ② 事務事業の実施内容について、評価を得たいもの 例) ・今後の事業展開に課題を抱えている事業 等 ③ 事務事業の実施方法について、評価を得たいもの 例) ・効率的な実施方法が求められる事業 等	
評価対象 事務事業数	6 事務事業（第一分科会、第二分科会を設置し、各分科会で 3 事務事業ずつ評価を行う）	
委員構成	14 名（学識経験者 2 名、団体推薦委員 6 名、公募区民 6 名）	
行政評価委員 会の流れ (予定)	7 月上旬	第 1 回全体会（委員委嘱、制度説明等） ※平成 31 年度評価対象事務事業選定に係るアンケート実施
	7 月上旬 ～ 8 月下旬	第 1 回～第 3 回 事業ヒアリング（現地視察含む） 第 4 回～第 5 回 事業評価 第 6 回 答申まとめ
	9 月上旬	第 2 回全体会（区長への答申）
	2 月頃	第 3 回全体会（答申内容をふまえた取組内容報告等）

平成29年度行政評価委員会委員アンケート 施策別集計結果

※回答者数:14名(複数回答)

分野	政策	施策	施策番号	回答数	
1 健康	1	健康 — 生涯にわたり健康に暮らせるようにします			
		01	地域ぐるみの健康づくりを展開し、区民の健康づくりを支援します	0101	4
		02	安心して妊娠・出産・育児ができるよう、親と子の心身の健康を支えます	0102	1
		03	生活習慣病について知ることで、区民自らが健康管理できるようにします	0103	3
		04	食育を通じて、心身ともに健康で豊かに生活できるようにします	0104	0
	2	医療 — 必要な医療を受けられるようにします			
		01	医療機関との連携を図り、必要な医療を提供できるようにします	0201	0
		02	心の健康を保ち、適切な精神医療につながるようにします	0202	4
	03	医療保険を安定的に運営するとともに、区民が必要な医療を受けられるようにします	0203	2	
	3	衛生 — 衛生的で快適な環境を整え、健康被害を防止します			
		01	感染症の発生や拡大を抑制します	0301	2
		02	食品の安全を推進します	0302	0
		03	医療と医薬品の安全を推進します	0303	1
04		生活環境の衛生を維持します	0304	1	
2 福祉	4	高齢者支援 — 高齢者が住み慣れた地域でいきいきと安心して暮らせるようにします			
		01	高齢者がサークル活動や就労の場を持ち、元気に生活できるようにします	0401	5
		02	高齢者が介護を必要とせずに自立して生活できるようにします	0402	1
	03	高齢者が必要な介護や自立支援を受け、生活できるようにします	0403	3	
	5	障害者支援 — 障害者が地域社会の中でともに支えあう一員としていきいきと暮らせるようにします			
		01	障害者が自分らしく自立した生活を営めるように支援します	0501	2
		02	障害者が能力を十分に発揮し、いきいきと働き続けられるように支援します	0502	2
	03	発達が心配される児童一人ひとりの発達を支援します	0503	2	
	7	低所得者支援 — 生活に困窮する区民が安心して生活できるようにします			
		01	生活に困窮する区民が健康で文化的な最低限度の生活を維持できるようにします	0701	0
8	地域福祉 — 支援を必要とする高齢者等が地域社会に支えられ、安心して暮らせるようにします				
	01	福祉サービスを必要とする人が安心してサービスを利用できるようにします	0801	0	
02	支援が必要な高齢者等を地域で支えあうしくみをつくります	0802	3		
3 子育て	6	子ども・家庭支援 — 安心して子どもを産み育てられるようにします			
		01	安心して妊娠・出産・育児ができるよう、親と子の心身の健康を支えます	0601	0
		02	子育て中の家庭を支援し、安心して子どもを育てられるようにします	0602	3
		03	仕事と子育てを両立しやすい環境を整えます	0603	5
04	子どもの権利・利益を守り、子どもの健やかな育成が尊重されるようにします	0604	1		

分野	政策	施策	施策番号	回答数	
4 地域 振興、 防災	10	防災・生活安全 — 災害や犯罪から身を守り、安全で、安心して暮らせるまちにします			
		01	災害に強く、安全で、安心して生活できる街をつくります	1001 4	
		02	災害に対しの確な対応と迅速な復旧ができる体制にします	1002 3	
		03	災害発生時に地域で救援・応急活動を迅速に行えるようにします	1003 5	
		04	犯罪や事故から身を守り、安全で、安心して暮らせるまちにします	1004 1	
		05	正しい知識により賢い消費者の目を身につけ、安心して生活できるようにします	1005 0	
		17	地域活動 — 区民の地域活動への参画のすすめ、住民が主人公となるいきいきとした地域づくりを進めます		
			01	地域団体や市民活動団体等の活動が積極的に行われるようにします	1701 2
			02	利用しやすい地域活動の拠点を提供します	1702 2
		18	文化・国際 — 地域に根差した文化と芸術を育み、多文化を理解する地域社会をつくります		
			01	区民の文化・芸術への参加意欲を高め、地域文化・芸術を創造します	1801 1
		02	お互いの国の文化や習慣を理解し、外国人区民、日本人区民が共生する地域社会をつくります	1802 1	
5 産業・ 観光	14	産業 — 産業を活性化させ、豊かな地域社会を形成します			
		01	新たな技術や事業の創出を支援するとともに、区内産業の魅力を広くアピールして、産業を活性化します	1401 2	
		02	区内の事業所が安定的に経営できるようにします	1402 1	
		03	産業に対する区民の理解を深め、産業と調和のとれた地域をつくります	1403 0	
		04	区民のキャリアアップと就労を支援します	1404 1	
		15	観光—まちの魅力高め、情報を広く発信し、多くの人で賑わうようにします		
			01	観光資源を活かした賑わいのあるまちにします	1501 3
		02	地域ならではのイベントにひかれ、多くの人で賑わうようにします	1502 4	
6 街 づくり	9	地域街づくり — 区民と協働して地域の特性を活かした活力ある住みよい街をつくります			
		01	計画的な土地利用を進め、建築物等が地域と調和するようにします	0901 0	
		02	駅周辺等を、住み、働き、憩う、賑わいのある拠点とします	0902 0	
		03	地域特性や地域の実情を活かした街づくりを進めます	0903 0	
		04	住生活の安定と向上を促進します	0904 0	
		05	地域を良好な住環境にします	0905 4	
		11	交通 — 安全かつ快適に移動できるまちにします		
			01	交通渋滞の解消と道路の適正な維持管理により、道路を安全かつ快適に通行できるようにします	1101 3
			02	違法な駐車・駐輪を少なくします	1102 2
			03	歩行者・自転車の安全通行の確保や啓発活動を進め、交通事故を少なくします	1103 3
			04	踏切解消など都市基盤整備を進め、安全で利用しやすい公共交通を実現します	1104 0
		12	公園・水辺 — 多様な役割を持つ場として、地域の中に公園などの快適空間を整備します		
			01	区民ニーズや地域特性を踏まえた公園を整備し、多くの区民が利用できるようにします	1201 1
		02	河川を活かした快適な空間を整備し、多くの区民が水辺に親しめるようにします	1202 1	

分野	政策	施策	施策番号	回答数
7 環境	13	環境 — 人と自然が共存できる環境を守ります		
	01	環境活動団体等のネットワーク化を図るとともに環境活動の担い手を育成します	1301	0
	02	豊かな自然を守り育てます	1302	3
	03	良好な生活環境が保たれ、快適に住み続けられるようにします	1303	1
	04	温室効果ガスを削減するため、省エネ行動や再生可能エネルギー利用を促進します	1304	0
	05	ごみのない、きれいで清潔なまちにします	1305	2
	06	発生抑制を最優先にごみ減量に地域をあげて取り組めるようにします	1306	4
	07	環境負荷の少ない適正なごみ処理体制を整えます	1307	0
8 教育	19	学校教育 — 子どもの基礎学力の向上を図り、自ら考え判断できる生きる力を育てます		
	01	基礎的な学力の向上を図り、生きる力を身につけながら、社会に対応できる能力を育みます	1901	2
	02	社会生活のルールを学び、悩みを解決する中で、心豊かな学校生活を送ることができるようになります	1902	6
	03	運動を通じて体力を養い、心身ともに健康で健やかな体を育みます	1903	0
	04	いきいきと学校生活が送れるよう、教育環境を整えます	1904	0
	20	地域教育 — 学校・家庭・地域の連携により、青少年の健全育成を図るとともに、豊かな教育環境をつくります		
	01	青少年のための活動機会を整え、活発に活動できるようにします	2001	3
	02	学校・家庭・地域の連携により、豊かな教育環境をつくります	2002	2
	03	家庭教育を支援し、親子がともに学び育ちあえるようにします	2003	1
	21	区民学習 — 生涯にわたり主体的に学習を続けられるようにします		
	01	多様な学びと交流の機会を整え、自主的な学習活動を支援します	2101	4
	02	多様な手段で、図書サービスを受けられるようにします	2102	1
	22	スポーツ — 生涯にわたりスポーツに親しめるようにします		
01	多様なスポーツの機会を提供します	2201	2	
02	スポーツを支える基盤を整備します	2202	2	
9 その他	16	人権・平和・ユニバーサルデザイン — 区民一人ひとりの人権が尊重され、平和で暮らしやすい社会を築きます		
	01	すべての人の基本的人権が尊重され、男女が対等な立場で協力し合えるようにします	1601	3
	02	世界平和を願い、核兵器廃絶を望むようにします	1602	0
	03	すべての人にとって使いやすいデザインやしくみが随所に取り入れられるようにします	1603	3

分野	政策	施策	施策回答理由（抜粋）
1. 健康	1	1	子育て支援や高齢者支援以外にも、中年の区民に対する相談担当部署があっても良いのではないか。
			道路等でのポイ捨てや飲食店での喫煙行為等、受動喫煙に対する意識の向上が必要である。
			健康寿命延伸のため、多くの区民が参加できる事業を評価すべきである。
			区民保養施設提供事業が、区民の健康づくりに役立っているのか疑問である。また、一部の区民に利用が集中していないか検証をする必要がある。
1. 健康	1	2	産後の精神的不安定な時期に、カウンセラーに相談できる体制の充実が必要である。
1. 健康	1	3	生活習慣病について考え、検診を受けることで、区民一人ひとりの意識の向上につながるため、評価すべきである。
			—
			生活習慣病予防のために、奥戸スポーツセンター内にある体組成計を要所に設置し、健康診断以外での健康管理に役立ててはどうか。
1. 健康	2	2	自殺の兆候や抑うつ状態に周囲が気づき、早期に適切な対応ができるような体制を整備する必要がある。
			—
			精神保健教室と精神保健相談は何をやっているのか不明である。
			精神的な悩みを抱える人が増えていることから、ためらわずに相談や受診ができるよう、現在の相談体制や支援方法を見直し、充実させる必要がある。
1. 健康	2	3	特定健康診査や指導は、地域ぐるみで支え合うことで安心して生活できる。
			難病等の助成申請手続きを分かりやすくするとともに、適切な助成内容であるか常に見直すことが重要である。
1. 健康	3	1	—
			予防接種を受けることで、子どもが健やかに育つことができるため、親への積極的な接種勧奨を行うべきである。
1. 健康	3	3	—
1. 健康	3	4	野良猫の増加を防ぐため、不妊手術のさらなる推進が必要である。

分野	政策	施策	施策回答理由（抜粋）
2. 福祉	4	1	高齢者が生きがいを持って生活できるよう、それぞれのライフスタイルにあわせて、生涯学習や自主活動を応援する必要がある。
			高齢者の活動場所の増加に向けて助成等を行うことで活動のできる人材を育成する必要がある。
			高齢者が引きこもらずに、生きがいを持てる事業を評価すべきである。
			高齢者クラブの仕組みとあり方に疑問がある。シルバー向け施策が多く、区の財政負担に偏りがあるのではないか。
			高齢者クラブへの助成内容や活動のあり方を見直す必要がある。ITサロン、シルバーカレッジ、パソコン講座は内容が重複しているのではないか。パソコン講座等運営委託の内容を随時見直すことが望ましい。
2. 福祉	4	2	介護予防事業の実施及び事業の周知は重要である。
2. 福祉	4	3	高齢者の活動場所の増加に向けて助成等を行うことで活動のできる人材を育成する必要がある。
			—
			認知症予防として、「65歳からのいきいき元気度チェック」活用方法を変更してはどうか。
2. 福祉	5	1	重要な施策のため評価すべきである。
			民生委員等の人材を増やし、地域で障害者家族を支える体制の充実が必要である。
2. 福祉	5	2	重要な施策のため評価すべきである。
			—
2. 福祉	5	3	重要な施策のため評価すべきである。
			障害児の増加に対応するため、施設への助成内容を見直すとともに、相談窓口の拡充や個別支援の充実を図りながら、児童発達支援センターの利用促進へとつながる体制構築の検討が必要である。
2. 福祉	8	2	募金額が漸減しているため、社会福祉協議会の推進事業に対する助成充実が必要である。
			高齢者が外出することが楽しくなるよう、空き教室・広場の活用や活動を見守るリーダー的人材の育成が必要である。
			高齢者が引きこもらずに、生きがいを持てる事業を評価すべきである。

分野	政策	施策	施策回答理由（抜粋）
3. 子育て	6	2	少子化対策と子育て中の家庭への支援に注力すべきである。また、子どもが楽しく過ごせるよう、児童館・学童保育クラブのプログラムの充実が必要である。
			子育て中の家庭を支援することは重要である。安心して子育てできるよう、応援事業や幼稚園について評価する必要がある。
			女性の就労を踏まえ、安心して子育てができる環境整備が求められる。
3. 子育て	6	3	放課後子ども事業（わくわくチャレンジ広場）は、保育士等が常勤している学童保育クラブでの運営を急ぐべきである。
			小学校入学後の学童保育の需要が高まっており、児童の安全確保のためにも、全小学校に学童保育クラブを設立する必要がある。
			少子化対策と子育て中の家庭への支援に注力すべきである。また、子どもが楽しく過ごせるよう、児童館・学童保育クラブのプログラムの充実が必要である。
			女性の就労を踏まえ、安心して子育てができる環境整備が求められる。
			病児保育施設の設置のみならず、病児一時預かりや家庭での看護を担当する専門シッター派遣費用の助成を検討してはどうか。また、一時預かりも含めて、保育園等に入園できない場合のシッター代の助成も必要である。
3. 子育て	6	4	—
4. 地域振興、防災	10	1	災害時にコミュニティが機能するために、空地の緑化を推進し、地域住民が普段から集まれる場所の確保をすべきである。
			区の防災、とりわけ地震対策について評価すべきである。
			木密地域を減らすことが防災の最優先事項である。
			多数の乗降客に対応するため、青砥駅前広場、バス・タクシー乗場等の青砥駅周辺の街づくりに取り組む必要がある。
4. 地域振興、防災	10	2	水害対策の強化について、評価すべきである。
			区の防災、とりわけ地震対策について評価すべきである。
			防災訓練の練度を上げる必要がある。
4. 地域振興、防災	10	3	市民消防隊の運営体制を見直すべきである。
			災害時にコミュニティが機能するために、空地の緑化を推進し、地域住民が普段から集まれる場所の確保をすべきである。
			発災後の早期復旧のためには、発災時の迅速な対応がとれるよう、防災に関する整備や強化が重要である。
			区の防災、とりわけ地震対策について評価すべきである。
			—

分野	政策	施策	施策回答理由（抜粋）
4. 地域振興、防災	10	4	狭い歩道に商店の商品、看板、箱物が置かれているため、有事に備え、日頃から指導をしてはどうか。
4. 地域振興、防災	17	1	区主催の行事等を充実させて地域活動を活性化させてはどうか。
			SNSやその他のツールによる新しいコミュニティの存在を踏まえた、地域活動の支援が必要である。内容の分かりにくい事業が多いため、整理・改名を検討しても良いのではないかな。
4. 地域振興、防災	17	2	居心地の良い地域活動の拠点となるよう施設のトイレや水回りの改修を行ってはどうか。
			SNSやその他のツールによる新しいコミュニティの存在を踏まえた、地域活動の支援が必要である。内容の分かりにくい事業が多いため、整理・改名を検討しても良いのではないかな。
4. 地域振興、防災	18	1	区民が地域への愛着心や地域の魅力に関心を持てるよう、区内に存在する貴重な文化財の保護活用を推進することが大切である。
4. 地域振興、防災	18	2	地域に住む外国人を自治町会役員が把握することで、地域で相談に応じられるようになるのではないかな。
5. 産業・観光	14	1	理科大生や区内高校生と連携して事業を実施してはどうか。
			—
5. 産業・観光	14	2	トイレ運営事業は区で実施する必要があるのか疑問である。
5. 産業・観光	14	4	葛飾ブランドの良さを伝える事業の充実が必要である。中学生のみならず、大学生の就活セミナーへの出展や他区の大学・高校への就職説明会への参加等、区内の中小企業のアピールを高校生や大学生に広めてはどうか。インターシップ受入れ支援や産学公連携による新規事業も必要である。
5. 産業・観光	15	1	水元公園の有効利用を検討してはどうか。
			プロの力を借りて、インターネットを活用した区の魅力を最大限に発信できる仕組みを構築してはどうか。
			葛飾ブランドの良さを伝える事業の充実が必要である。観光資源を人気キャラクターに頼るのではなく、「インスタ映え」等の新たな概念を踏まえて、常に新しい観光まちづくりを検討し、実践する必要がある。
5. 産業・観光	15	2	東京2020東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向け、メディアを活用して、国内外に区の魅力を発信していく必要がある。その際、区の花である花菖蒲の存在を上げることで、区の自然の素晴らしさをアピールできるのではないかな。
			プロの力を借りて、インターネットを活用した区の魅力を最大限に発信できる仕組みを構築してはどうか。
			地域のイベントや行事が盛んになることで、多くの人が集まり、よりよい街づくりにつながる
			葛飾ブランドの良さを伝える事業の充実が必要である。観光資源を人気キャラクターに頼るのではなく、「インスタ映え」等の新たな概念を踏まえて、常に新しい観光まちづくりを検討し、実践する必要がある。

分野	政策	施策	施策回答理由（抜粋）
6. 街づくり	9	5	月1回の清掃を自治町会で取り組み、住み心地の良い街にしてはどうか。
			空家等の区の取組みについて、評価すべき。
			—
			宅地開発等の事前協議や違反建築の指導に注力し、景観の維持・空家の撤去等を図り、木密地域を減らしていくことが防災施策にもつながる。
6. 街づくり	11	1	歩道の幅を広くし、自転車の優先道路を作ることで安全に歩ける道路にしてはどうか。
			高齢者の増加を見据え、歩道の段差解消に注力すべきである。
			車両の安全運行と区民の利便性向上のため、中川土手上の道路（高砂橋～本奥戸橋）の拡張が必要である。
6. 街づくり	11	2	駅周辺の放置自転車や違法駐輪がなくなることで、より良い街になり、交通事故の減少につながる。
			放置自転車はマナーの問題だけでなく、駐輪場の絶対数の不足でも起こる。本区だけで撤去や指導をしても根本的な解決にはならないため、近隣区との連携等総合的な見直しを図る必要がある。
6. 街づくり	11	3	交通弱者を事故から守り、区民に交通安全意識を浸透させるために、交通安全運動をより一層充実し、工夫していく必要がある。
			自転車マナーについて、重大な事故を防ぐため、区独自のルールを作ってはどうか。
			交通安全意識の浸透、交通安全マナーの向上のため、啓発活動を充実させる必要がある。
6. 街づくり	12	1	鉄道駅周辺など、区民の暮らしに身近な公園が不足している。防災活動拠点や地域活性化の観点からも充実を図るべきではないか。
6. 街づくり	12	2	水元公園の有効利用を検討してはどうか。
7. 環境	13	2	河川の水質改善活動の情報提供や子どもを対象とした川に親しむイベントのより一層の充実が望まれる。
			区のセールスポイントである水元公園での水との関わりを深め、自然を満喫できるようにしてはどうか。
			豊かな自然は、区民のより良い生活につながるため、施策内の事業をより一層周知していくべきである。
7. 環境	13	3	自動車公害の防止について検討すべきである。
7. 環境	13	5	きれいな街を維持するために、自治町会の関わり方を検討する必要がある。
			たばこのポイ捨てを防止するため、罰金制にしてはどうか。

分野	政策	施策	施策回答理由（抜粋）
7. 環境	13	6	—
			—
			ごみ減量のために、3Rの意識がより一層浸透するよう施策内の事業の見直しと充実を図る必要がある。
			ごみ減量のために、環境学習や講座において、3Rの推進や正しいごみの出し方等区民への更なる意識啓発が必要である
8. 教育	19	1	地域間・学校間で学力に差が出ている現状を分析し、課題を整理した上で、施策を推進すべきである。子どもの個性に応じて、学力以外にも、体力・想像力を伸ばすことが重要である。
			基礎学力向上のため、低所得者支援の各施策との連携を検討し、家庭や学校での支援の充実を図るべきである。複雑化する学校問題に対応するため、代替指導・引率できる指導員の増員や常駐型のスクールカウンセラーの配置等も検討してはどうか。また、教員の指導力向上に注力するとともに、区独自の教員採用制度の導入も検討してはどうか。
8. 教育	19	2	集団生活等に悩む児童・生徒に対する巡回指導や全小学校に設置されている特別支援教室での指導は充分とは言えない状況である。今後、公立学校での特別支援教育のより一層の充実が求められる。
			子どもの個性に応じて、学力以外にも、体力・想像力を伸ばすことが重要である。
			施策を充実させることで、より多くの方が幸せな生活を送ることができ、豊かな街につながる。
			—
			保田しおさい学校は、区だけで運営していける規模なのか疑問である。他区・他地域と連携して運営してはどうか。
			基礎学力向上のため、低所得者支援の各施策との連携を検討し、家庭や学校での支援の充実を図るべきである。複雑化する学校問題に対応するため、代替指導・引率できる指導員の増員や常駐型のスクールカウンセラーの配置等も検討してはどうか。また、教員の指導力向上に注力するとともに、区独自の教員採用制度の導入も検討してはどうか。
8. 教育	20	1	関連事務事業で政策として評価すべき。
			登下校時の見守り、学習サポート、校庭の雑草取り等、地域の大人ができることはたくさんあるのではないかと。
			子ども会への全入は困難な時代になっていることを踏まえ、地域活動の魅力を伝えていくことで子ども会への加入促進を図り、従来の活動を残しながらも、新しい絆づくりと地域教育のあり方を検討してはどうか。

分野	政策	施策	施策回答理由（抜粋）
8. 教育	20	2	登下校時の見守り、学習サポート、校庭の雑草取り等、地域の大人ができることはたくさんあるのではないかと。
			地域活動の魅力伝えていくことで、従来の活動を残しながらも、新しい絆づくりと地域教育のあり方を検討してはどうか。
8. 教育	20	3	登下校時の見守り、学習サポート、校庭の雑草取り等、地域の大人ができることはたくさんあるのではないかと。
8. 教育	21	1	学び交流まつりへの助成を検討してはどうか。
			子どもの個性に応じて、学力以外にも、体力・想像力を伸ばすことが重要である。
			—
			区民学習の場の確保と魅力向上が必要である。区民大学や各種講座の分野が偏っているため、外部講師の招聘や他区イベントの提携等、さらに多様化を図ってはどうか。
8. 教育	21	2	子どもの個性に応じて、学力以外にも、体力・想像力を伸ばすことが重要である。
8. 教育	22	1	高齢者の健康づくりの推進は、文化活動に関する内容もあるのではないかと。
			東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、多くの区民が参加し、楽しめるスポーツ事業について評価すべきである。
8. 教育	22	2	—
			東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向け、多くの区民が参加し、楽しめるスポーツ事業について評価すべきである。
9. その他	16	1	仕事における男女差別を改善するため、男女平等推進センターの充実を進めるべきである。
			男女平等のみならず、人権全般について区民の更なる意識改革に努めるべきである。暴力の根絶はもちろん、モラハラや毒親、セクシャルマイノリティなどへの対応、被害者への支援について、新規事業の検討が必要である。
			来場者数の拡大を目指して、パルフェスタの開催日は土・日曜日にし、広報紙1面で宣伝してはどうか。
9. その他	16	3	亀有リリオホールの楽屋から舞台への移動手段として、エレベーター等の設置が求められる。
			施策を推進することで、より多くの人が豊かなり、住みやすい環境になる。
			—